



株式会社 **笹川組**

2025年度 環境経営レポート

(対象期間：2024年9月26日～2025年9月25日)



発行日 2025年10月17日
発行責任者 村田真朗



認証番号 0008895



目次

- 1.組織の概要と認証・登録範囲
- 2.環境経営方針
- 3.主な環境負荷の実績
- 4.エコアクション21実施体制組織図
- 5.環境経営目標とその実績
- 6.環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、
次年度の環境経営目標及び環境経営計画
- 7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、
訴訟等の有無
- 8.代表者による全体の評価と見直し・指示結果

報告要件

報告対象期間

2024年(令和6年)9月26日～2025年(令和7年)9月25日

報告対象組織

環境マネジメントシステムを構築している

本社及び京都支店、湖南営業所、荒張作業所の環境取組を対象とする。

1 組織の概要と認証・登録範囲

事業者名



株式会社 笹川組

事業概要

会社概要

設立 昭和27年4月
資本金 1億円
代表者 取締役社長 高田盛介
従業員数 60名(令和7年9月現在)
本社所在地 滋賀県大津市打出浜13番15号

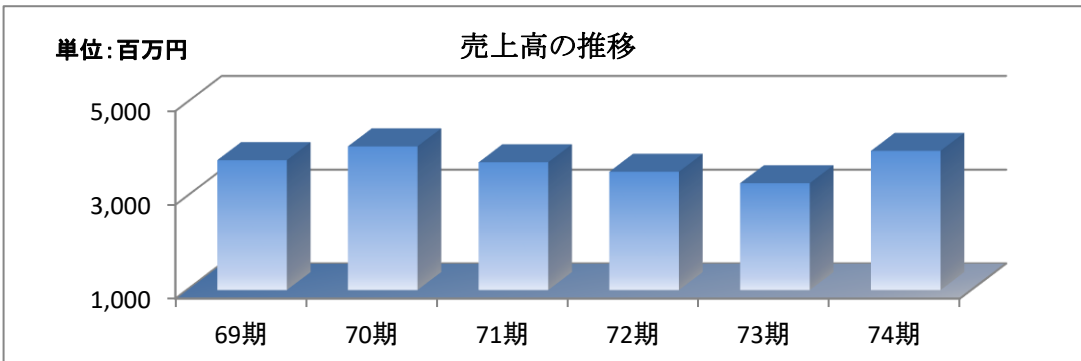
事業活動

- ◆土木工事
- ◆上下水道工事
- ◆建築工事
- ◆解体工事

事業の規模と事業年度

単位:百万円

69期 令和元年9月26日 ～令和2年9月25日	70期 令和2年9月26日 ～令和3年9月25日	71期 令和3年9月26日 ～令和4年9月25日	72期 令和4年9月26日 ～令和5年9月25日	73期 令和5年9月26日 ～令和6年9月25日	74期 令和6年9月26日 ～令和7年9月25日
3,770	4,064	3,725	3,524	3,278	3,969



環境管理関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

環境管理責任者

設計積算部長:村田真朗 連絡先: 077-523-2314

連絡担当者

事務局:酒井 洋 連絡先: 077-523-2314

許認可

建設業許可

国土交通省 許可 特3-464号

品質管理ISO9001

審査機関: ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

認定機関: JAB(日本適合性認定協会)

エコアクション21

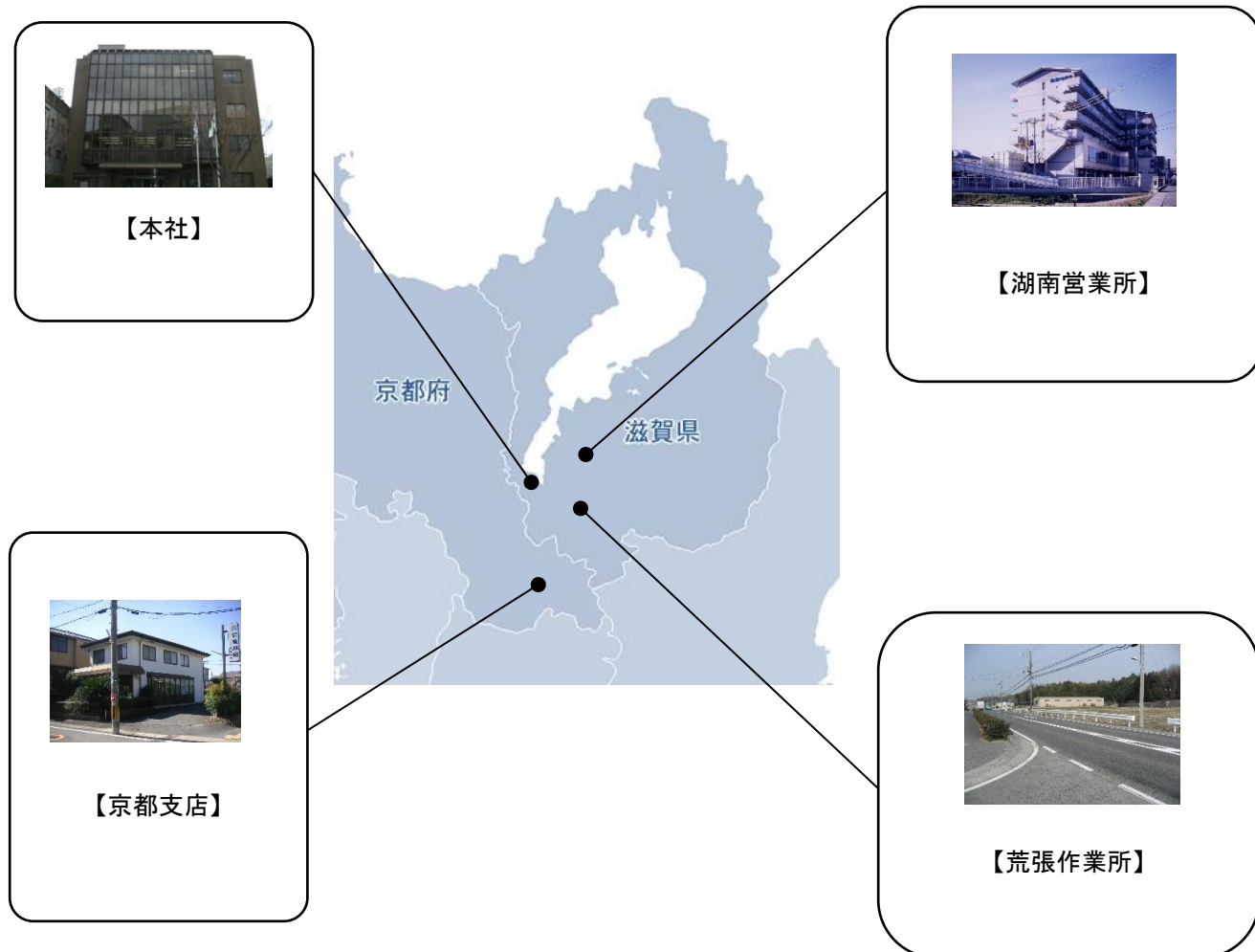
認定番号: JA0285-24Q-1

認証・登録番号:0008895

担当事務局:エコアクション21地域事務局 大阪

所在地及び支店

本社 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜13番15号
 京都支店 〒610-0111 京都府城陽市富野森山14番地の2
 湖南営業所 〒520-3035 滋賀県栗東市霊仙寺1丁目2番19号(ESPO栗東内)
 荒張作業所 〒520-3003 滋賀県栗東市荒張2027



事業組織

面積：㎡	本社	京都支店	湖南営業所	荒張作業所
事務所床面積	2,512.57	153.09	25.38	99.37
倉庫床面積	-	-	-	654.48
駐車場面積	996.00	547.84	786.75	-
資機材置場面積	-	-	-	4,873.00
認証・登録	○	○	○	○

【株式会社 笹川組 本社】

郵便番号: 520-0806

住 所: 滋賀県大津市打出浜13番15号

交通手段: 京阪電気鉄道石山坂本線石場駅より徒歩で5分

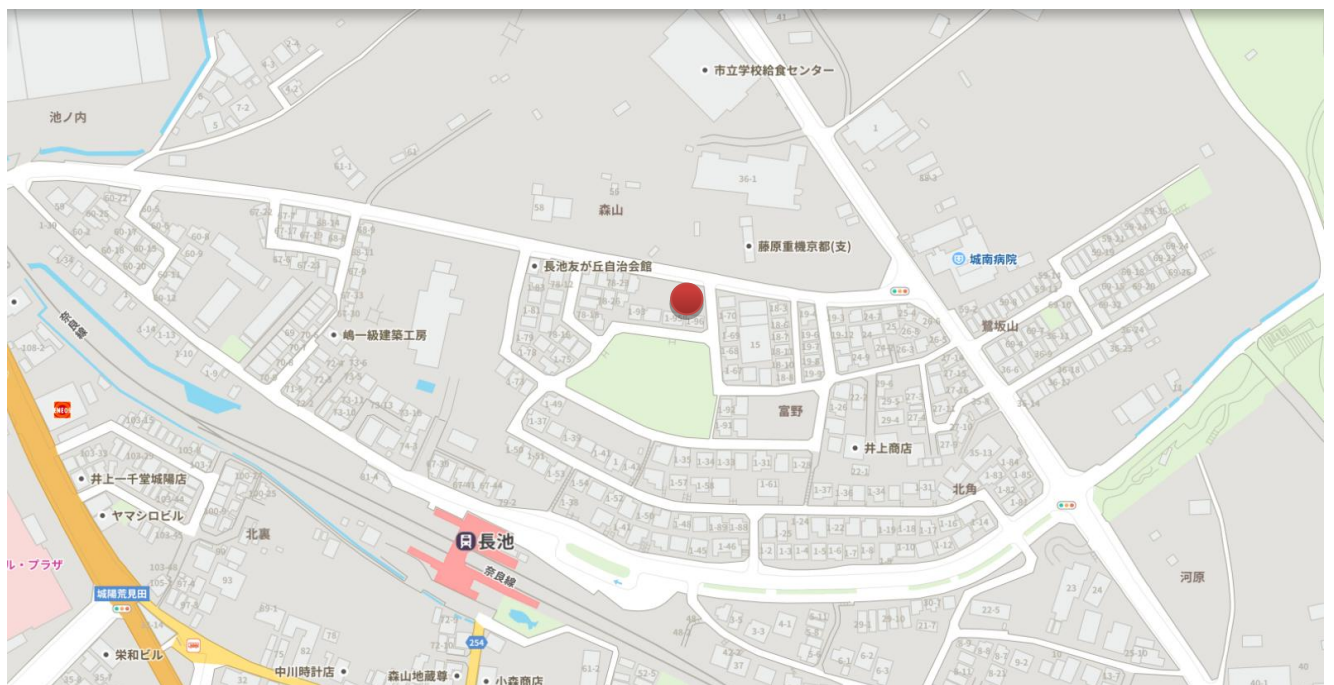


【株式会社 笹川組 京都支店】

郵便番号: 610-0111

住 所: 京都府城陽市富野森山14番地の2

交通手段: JR奈良線長池駅より徒歩で10分



【株式会社 笹川組 湖南営業所】

郵便番号: 520-3035

住 所: 滋賀県栗東市霊仙寺1丁目2番19号

交通手段: JR東海道本線栗東駅より徒歩で8分



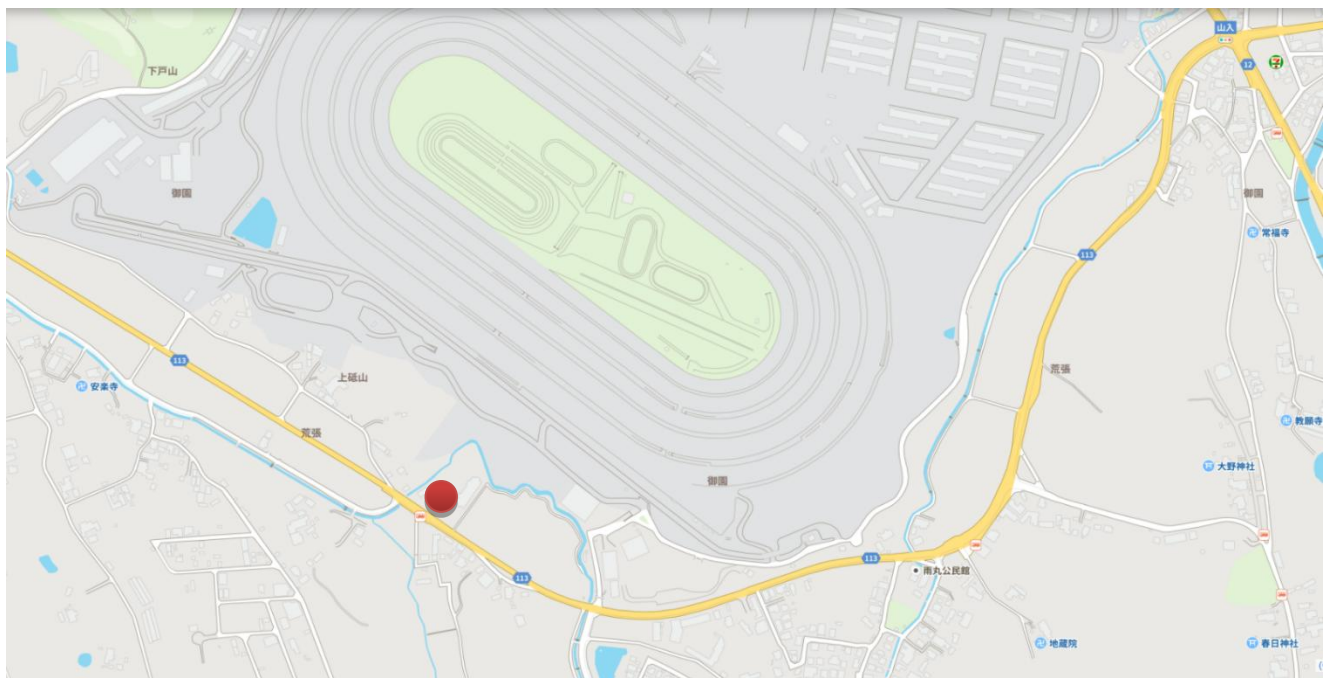
【株式会社 笹川組 荒張作業所】

郵便番号: 520-3003

住 所: 滋賀県栗東市荒張字上長野2027

交通手段: JR東海道本線栗東駅より帝産湖南交通コミュニティセンター金勝

帝産湖南交通コミュニティセンター金勝よりくりちゃんバス治田金勝線美之郷停留所より徒歩で1分



環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、琵琶湖を望み水環境への心遣いと共に歩んできた。一方では建設事業を通じて社会資本の充実に寄与し社会の付託に応えてきたが、それに伴い大きな環境負荷も同時に発することになった。ここに今日の地球環境問題の深刻さをみる時、環境負荷の継続的な削減に取り組む必要を痛感し、社員一同ここに以下の方針の下、取り組むことを誓約するものである。

- 環境関連法規等を遵守する。
- 建設事業の企画、設計、施工、維持管理の各段階で例外なく省エネルギー、CO₂削減、既存建物の有効再利用等、提案、実行します。
 - ☆ 事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO₂排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ グリーン購入の拡大を推進します。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
 - ☆ IT活用を推進し、紙と人の移動の減少、エコドライブによる環境負荷の削減に努めます。
 - ☆ ZEB建築物の普及への取組みを推進する。
- この環境経営方針は全従業員に周知、徹底する。

2024年9月26日



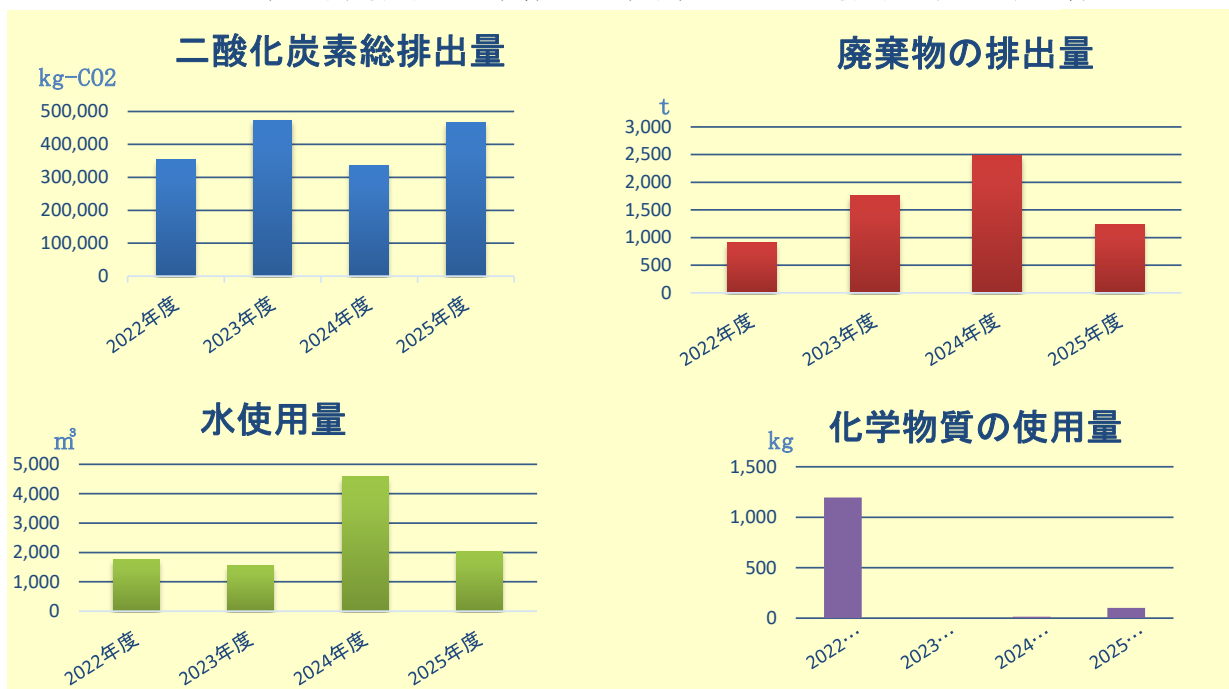
株式会社 笹川組

取締役社長 高田盛介

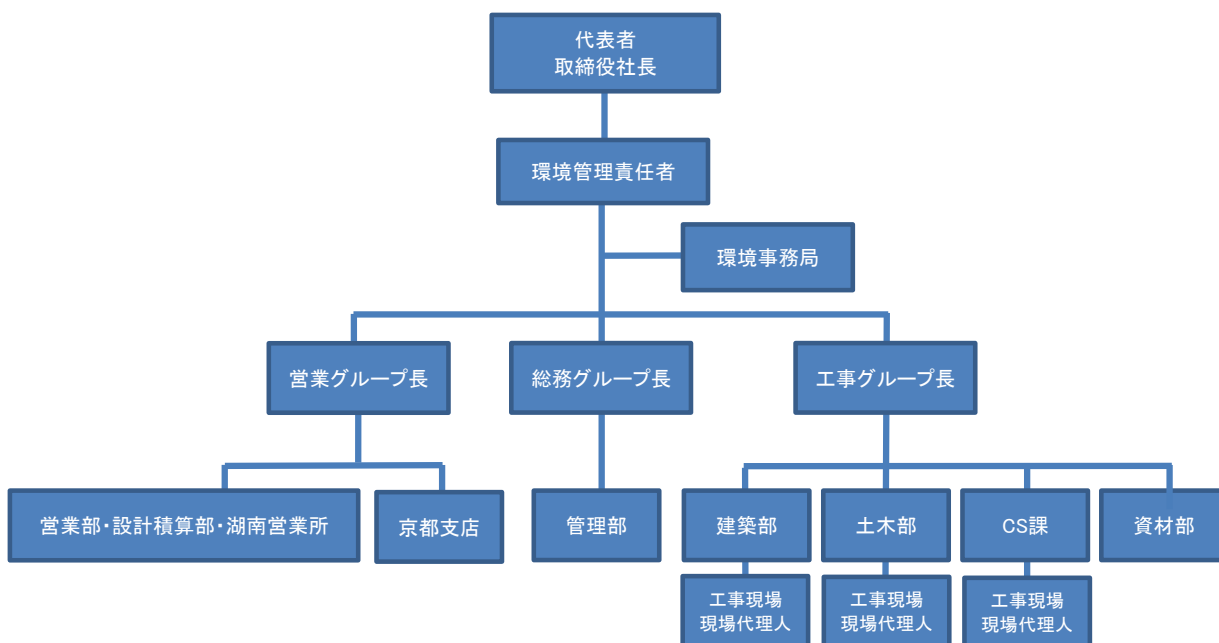
3 主な環境負荷の実績

項目	単位\年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	353,344	473,308	336,594	467,872
廃棄物の排出量	トン	908	1,753	2,483	1,234
水使用量	m ³	1,766	1,545	4,570	2,044
化学物質の使用量	kg	1,196	4	15	101

※二酸化炭素総排出量には、都市ガス、液化石油ガスCO₂排出量 (kg-CO₂) を含む



4 エコアクション21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境方針の下、環境目標の達成に向けて、環境活動計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
取締役社長	①代表者による経営における課題とチャンスの取りまとめ
	②環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	③環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	④環境管理責任者を任命する。
	⑤環境方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑥代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境方針及び自己チェック等に基づき環境目標を設定し、作成された環境活動計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
グループ長	①自部門における環境方針の周知
	②自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	③自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	④特定された項目の手順書作成及び運用管理
	⑤自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、試行、訓練を実施、記録の作成
	⑥自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。

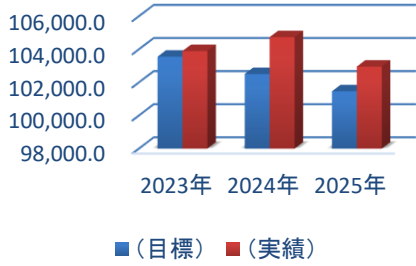
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進による排出量の削減 (単位: kg) 総務グループ	%	100.0%	99.0%	61.2%	98.0%	63.3%	97.0%	70.5%
		(kg/年)	2,965.7	2,936.0	1,815.8	2,906.4	1,876.8	2,876.7	2,090.6
	分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 工事グループ	%	90.0%	90.0%	92.0%	90.0%	86.2%	90.0%	70.8%
		(%/年)							
事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位: m ³) 総務グループ	%	100.0%	99.0%	102.7%	98.0%	101.9%	97.0%	119.0%
		(m ³ /年)	762.3	754.7	783.0	747.1	777.0	739.5	907.0
	事業所利用水の節水 (単位: m ³) 工事グループ	%	100.0%	99.0%	94.0%	98.0%	468.1%	97.0%	140%
		(m ³ /年)	810.2	802.1	761.9	794.0	3,792.7	785.9	1,136.6
		事業規模単位: 百万円	3,853	4,000	3,524	4,000	3,278	4,000	3,969
		売上高換算値			833.1		4,457.3		1,103.4
		実績比			-3.9%		-461.4%		-40.4%
	濁水防止の設置と適正管理 工事グループ	(件/年)	12	12	12	12	12	12	12
施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。	化学物質の適正管理 工事グループ	(回/年)	12	12	12	12	12	12	12
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の拡大 工事グループ	(%/年)	95.7%	97.0%	100.0%	97.0%	100.0%	97.0%	100.0%
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加 営業グループ	(回以上/年)	12	12	12	12	12	12	12
	グリーン商品の積極的購入 総務グループ	80.0%に拡大	66.7%	80.0%	72.2%	80.0%	71.9%	80.0%	78.0%
IT活用を推進し、紙と人の移動の減少、エコドライブによる環境負荷の削減に努めます。	ペーパーレス化の推進 エコドライブの推進 全グループ	(回/年)	2	2	2	2	2	2	2
ZEB建築物の普及への取組みを推進する。	ZEB建築物の推進 営業グループ	(回/年)	12	12	12	12	12	12	12

目標の説明や補足事項

- 購入電力の排出係数は、0.35 kg-CO₂/kWh(関西電力2020年度調整後排出係数)とする
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対してのリサイクル率で管理する
- 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する
- グリーン購入は、当面事務用品について取組む
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上ために笹川5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、スピート)に取り組む
- (実績)列の「%」行は、目標値に対する達成率です。
- 太陽光発電の発電量実績による二酸化炭素排出量削減数値を含んでいます。

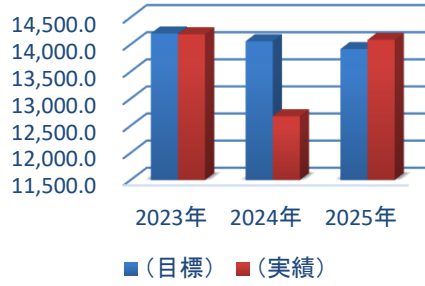
電力消費量(kWh)

総務グループ



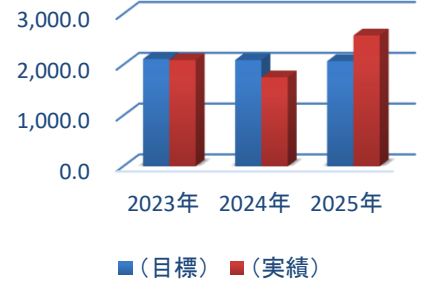
ガソリン消費量(L)

総務グループ



軽油消費量(L)

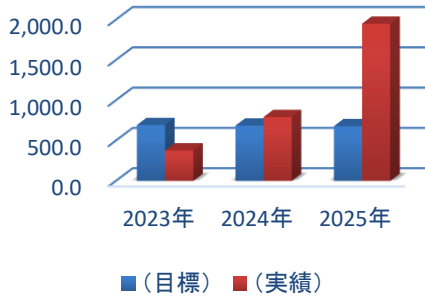
総務グループ



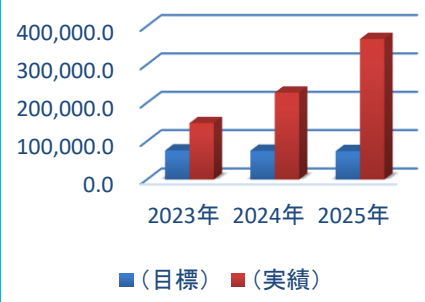
工事グループ



工事グループ

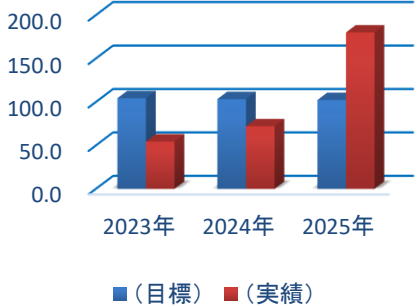


工事グループ

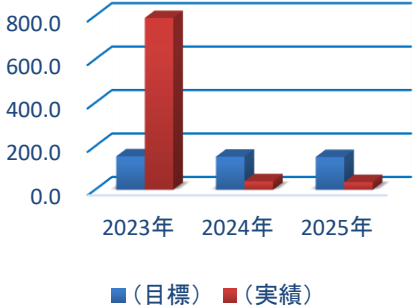


灯油消費量(L)

総務グループ

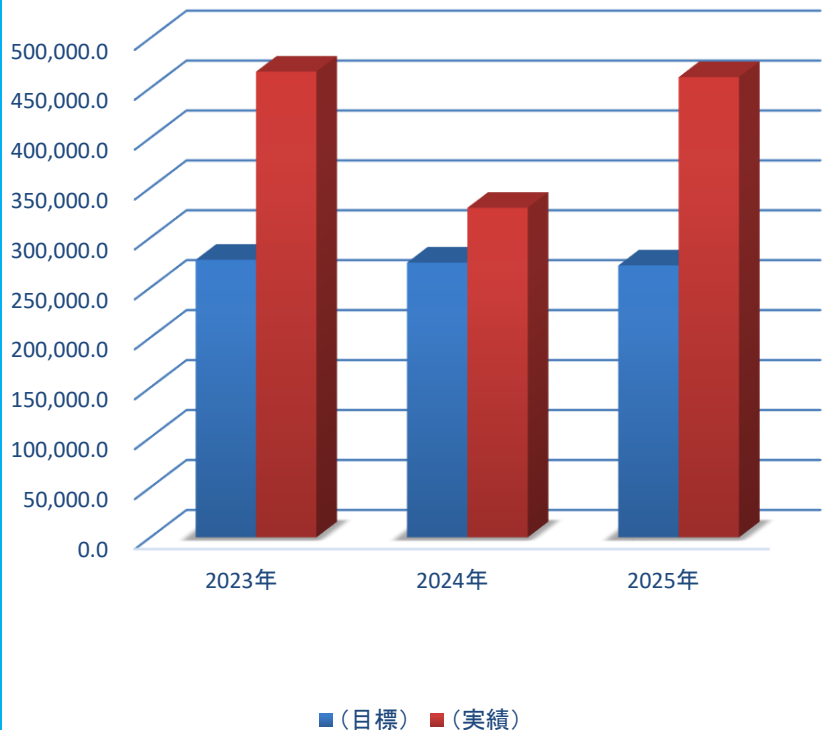


工事グループ



二酸化炭素排出量(kg-CO2)

全社



6 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

方針	取組項目	環境経営目標・環境経営計画の内容						責任部門		
		数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標		目標・計画の達成・実施状況の評価	
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ 排出量を削減します。	電力消費量の削減 (kWh) 総務グループ	数値目標	97.0%	98.4%	△	見直し	99.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 年間を通じてエアコンの稼働・非稼働の期間帯での差がより鮮明となった。稼働期では目標を大きく達せず、非稼働期はある程度の目標達成となる傾向が続いた。	総務グループ	
		活動計画	内容			実施状況	次年度			
			① 不用時の消灯			○	継続			
			② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ				継続			
			③ エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)				継続			
	④ 高効率照明の長期計画採用			継続						
	電力消費量の削減 (kWh) 工事グループ	数値目標	97.0%	175.9%	△	見直し	99.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 大型物件や作業所数の増加により計画値を超えることもあり、3.0%削減は達成できなかった。工事特性による変動が改めて浮き彫りとなったため、次期も大型物件等があることから、そのことを踏まえ管理する必要がある。	工事グループ	
		活動計画	内容			実施状況	次年度			
			① 不用時の消灯			○	継続			
			② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ				継続			
③ エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)			継続							
			継続							
ガソリンの燃費の向上 (単位: km/l) 総務グループ	数値目標	103.0%	98.0%	△	見直し	101.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 年間を通じて、燃費の目標達成は困難な数値。6月以降のハイブリッド車3台入替(増車含む)での効果は、導入以降に夏場を迎えており、今後長い目で改善効果を見る必要がある。	総務グループ		
	活動計画	内容			実施状況	次年度				
		① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認			○	継続				
		② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
		③ 環境に配慮した稼働				継続				
④ 更新車両の際低燃費車を採用			継続							
ガソリン消費量の削減 (単位: L) 工事グループ	数値目標	97.0%	-178.5%	×	見直し	99.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 ガソリンは小型発電機の使用の際に使用することが多かった。	工事グループ		
	活動計画	内容			実施状況	次年度				
		① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認			○	継続				
		② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
		③ 環境に配慮した稼働				継続				
			継続							
軽油の燃費の向上 (単位: km/l) 総務グループ	数値目標	103.0%	79.4%	△	見直し	101.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 目標を達成できた月は12ヶ月中、2ヶ月のみ。要因も給油時期の誤差と見られる。大きく目標水準の後退とフォークリフト入替が求められる。	総務グループ		
	活動計画	内容			実施状況	次年度				
		① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認			○	継続				
		② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
		③ 環境に配慮した稼働				継続				
④ 更新車両の際低燃費車を採用			継続							
軽油消費量の削減 (単位: L) 工事グループ	数値目標	97.0%	185.3%	△	見直し	99.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 軽油は土工事の重機使用率に影響を受けるため、削減することは困難であるアイドリングストップ機能付き重機を使用することで低減を図る。	工事グループ		
	活動計画	内容			実施状況	次年度				
		① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認			○	継続				
		② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
		③ 環境に配慮した稼働				継続				
			継続							
灯油消費量の削減 (単位: L) 総務グループ	数値目標	97.0%	170.9%	△	見直し	99.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 半年を経過した段階で、年間目標値の倍数の購入結果。以降の購入が無いため、年度途中の段階で取り組む意義を失った1年だった。本社での石油ファンヒーターの廃止などの大胆策を講じなければ改善は不可能。	総務グループ		
	活動計画	内容			実施状況	次年度				
		① ストープの温度管理(冬季20℃±1℃)			○	継続				
						継続				
						継続				
			継続							
灯油消費量の削減 (単位: L) 工事グループ	数値目標	97.0%	23.1%	○	見直し	99.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 水槽内の結露防止のため温風機稼働に使用したが少量のため目標値内で推移した。	工事グループ		
	活動計画	内容			実施状況	次年度				
		① ストープの温度管理(冬季20℃±1℃)			○	継続				
						継続				
						継続				
			継続							

方針	取組項目	環境経営目標・環境経営計画の内容						責任部門				
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進による排出量の削減 (単位: kg) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 年間総量や年末ごみの減少など、ペーパーレス化での一定の効果が見られた。	総務グループ			
			97.0%	70.5%	○	見直し	99.0%					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	
			①資源ごみをリサイクルされる回収業者へ出す							継続		
②シュレッダーごみの再資源化					継続							
③電子データで書類の減少					継続							
分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 工事グループ	分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 年間を通じてコンクリート殻の発生量は多く、必然的に実績率は高くなりました。改修工事が始まる月はどうしても数値が低くなる傾向がありますが、分別は適切に行われています。	工事グループ			
			90.0%	70.8%	△	維持	90.0%					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	
			①建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する							継続		
②建設混合廃棄物を削減する					継続							
事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位: m³) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 2月に漏水を疑う使用があったが、その後の経過観察から漏水ではなく、一時使用が極端に多かったと結論付けします。	総務グループ			
			97.0%	119.0%	△	見直し	99.0%					
		活動計画	内容				評価			次年度	○	
			①洗車の水使用量を減らす							継続		
	②水を流しながらの洗い物はしない					継続						
	③植栽散水の効率的実施					継続						
	事業所利用水の節水 (単位: m³) 工事グループ	事業所利用水の節水 (単位: m³) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 施工規模の大きい物件が2件あり、使用量が増加した。節水への取り組みはできている。	工事グループ		
				97.0%	140.3%	△	見直し	99.0%				
			活動計画	内容				評価			次年度	○
				①洗車の水使用量を減らす							継続	
	②水を流しながらの洗い物はしない					継続						
	濁水防止の設置と適正管理 工事グループ	濁水防止の設置と適正管理 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 吸着マットを設置する作業所が増加した。油漏れや濁水による苦情はなく、適切に管理されている。	工事グループ		
12回				12回	○	維持	12回					
活動計画			内容				実施状況	次年度			○	
			①オイル吸着材の設置					継続				
②適正管理を行う					継続							
施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。	化学物質の適正管理 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 SDSの管理、化学物質の取扱いに慣れてきて、安全パトロールでの指摘も無くなった。	工事グループ			
			12回	12回	○	維持	12回					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	
			①使用する接着剤の有害化学物質を削減する							継続		
②適正管理を行う					継続							
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の拡大 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 週1回の作業所周辺の一斉清掃が定着してきており、当社の協力会社も積極的に参加するようになった。	工事グループ			
			97.0%	100.0%	○	維持	97.0%					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	
			①建設現場周辺の清掃を週一回実施する							継続		
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加 営業グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 1年を通して問題なく活動でき、近隣から感謝の御言葉を励みに継続活動として取り組んでいます。	営業グループ			
			12回	12回	○	維持	12回					
	活動計画	内容				実施状況	次年度			○		
		①美知メサ他活動に参加する					継続					
	グリーン商品の積極的購入 総務グループ	グリーン商品の積極的購入 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 購入商品の品目で対象品があるか否かで、結果は大きく左右されるが、取組としては過去から徹底できている。	総務グループ		
				80.0%	78.0%	△	維持	80.0%				
活動計画			内容				実施状況	次年度			○	
			①文房具をグリーン商品から選定					継続				
②同種、同価格のものはグリーン商品を優先購入					継続							
IT活用を推進し、紙と人の移動の減少、エコドライブによる環境負荷の削減に努めます。	ペーパーレス化の推進 エコドライブの推進 全グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 社内書類のペーパーレス化を拡充することができ、着実に環境負荷に繋がる活動となってきている。	営業グループ			
			2回	2回	○	維持	2回					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	
			①ペーパーレスへの提案							継続		
②エコドライブの推進					継続							
ZEB建築物の普及への取組みを推進する。	ZEB建築物の推進 営業グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価 期間でのZEB計画建築は1件の建設中です。改修ZEB取組案件を重点に案件模索中です。	営業グループ			
			12回	12回	○	維持	12回					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	
			①勉強会の実施							継続		
					継続							

数値目標 ○:達成している。△:未達で連続すると問題の可能性がある。
×:未達で改善の必要がある。

活動計画 ◎:成果につながり良くできている。○:取り組まれていて問題はない。△:取組に問題の可能性がある。
×:できていない(改善の必要がある)

取組の紹介

環境経営方針のもと活動を行い建設業を通じて地域環境保全に配慮する活動を続けています。県内には日本一の淡水湖(琵琶湖)があり流域の保全にも一層力を入れて活動しています。建設業の特性ではありますが工事量増加、重機作業の増減に伴い数値目標が大きく上下するが、低炭素社会実現のため既存建物の有効再利用や省エネルギー提案を進め、各作業所においては近隣環境向上の取り組みとして美化活動を行い良い評価を励みにエコアクション21の活動を推進し、より一層省エネルギー工法技術の採用や地域環境保全に貢献できる企業を目指してまいります。

次年度の主な取組内容

これまでの取り組みに加えIT活用を推進し、紙と人の移動の減少による環境負荷の低減に努める。

活動の紹介

【地域清掃活動】

美しい環境に恵まれた住みよい郷土づくりを進めるための環境保全県民運動として、県民、事業者、各種団体、県および市町が一体となり、県下全域で環境美化運動「びわ湖を美しくする運動」に参加しました。



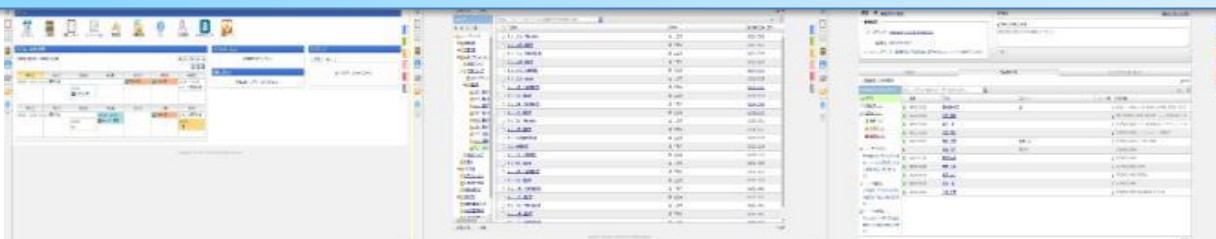
【環境測定の紹介】

解体工事中の振動・騒音測定記録。工事がある日は毎日、午前・午後の二回実施を行いました。住宅街での測定のため近隣への環境活動アピールにも一役かっています。山間部での工事着手前には希少植物調査や河川の透視度観測を実施しました。



【グループウェアでの紙資料削減】

社員への一斉配布等、従来の紙書類では手間と後々のごみが増加するため、データ書類で確認できるものから、グループウェアの配信機能を用いて情報共有を図っています。作業時間の効率性にも一役買っています。



【美知メセナ活動への参加、ひまわり、パンジーの植苗】

本社周辺の清掃並びに、幹線道路の歩道を月に1回清掃しております。夏にはひまわりを植え、秋にはパンジーを植えて歩道と植栽の清掃だけでなく、緑化に努めています。地域の法人様の理解もあり、共同で打出浜地域の植栽活動に力を注いでいます。



【現場における汚濁水処理】

掘削により生じた濁水は、PH中和機能付き濁水処理機にて、濁度とPH値を放流基準内に抑えてから放流。作業所内から発生する環境変化で、周囲に対し影響が出ないように自主的に努めています。



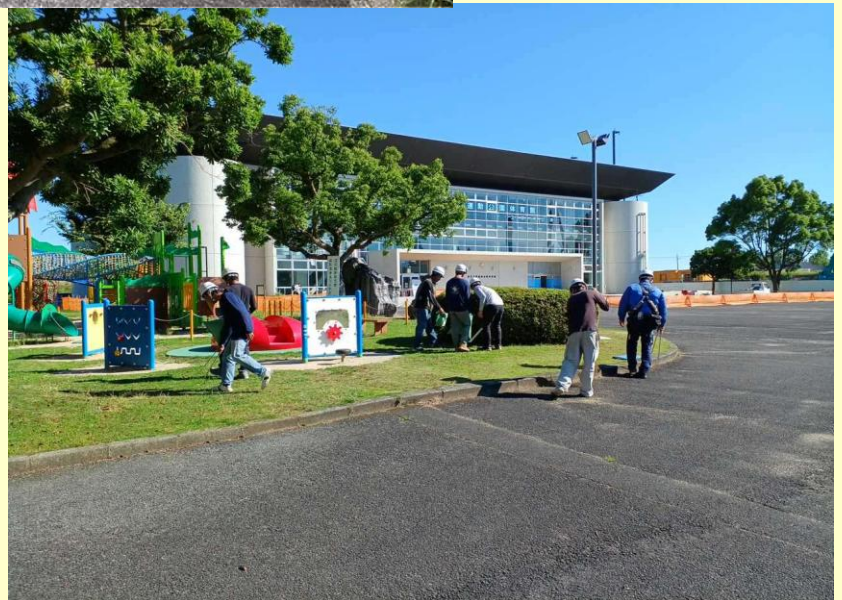
【環境活動掲示板による活動状況の把握】

環境活動掲示板には、現状の把握ができ、より身近な例えで意識向上に役立てるよう、エコアクション信号と月々に排出する二酸化炭素量が東海道新幹線では何キロの距離を走行する量に値するのか、また月別排出量を森林で吸収した場合の面積を甲



【現場の周辺清掃】

各作業所周辺の清掃活動を週に一度実施しています。周辺が綺麗になるのはもちろん、意識も向上し、作業所内でも整理整頓を含めた5S活動に心掛けています。近隣の皆様にも声をかけていただくこともあります。今期における清掃活動の回数は全作業



【太陽光を使用したWEBカメラ設置】

作業所現場での限られた人員で効率的に現地パトロールを行うために、現場の状況をリアルタイムで遠隔確認できるカメ



【防音シートの活用】

工事中での近隣への生活環境配慮として、防音シートのシートを採用し、生活の妨げを和らげる努力にも取り組みました。



【過積載防止】

車輛搬出時トラックスケールを使用し計測し適正な管理をすることで過積載防止に努めています。



【建設現場での分別収集の実施】

古紙の分別により産廃コストの削減に努めています。



【騒音防止】

低騒音重機の使用により周辺地域への騒音災害を低減に努めています。



【適時散水により土埃、道路への土砂持出しを低減する】

適時散水により土埃、道路への土砂持出しを低減しに努めています。



【工場内作業時のルール徹底】

食品工場入場時の服装(不織布つなぎ・ヘアネット・マスク)のルールを行い工場内での異物侵入を防ぐよう努めています。



【適時散水により土埃、道路への土砂持出しを低減する】

食品工場内での工事エリア外での床・機械等の養生を行い工事由来のゴミ混入防止に努めています。



7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	適正処理
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、記録	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載しています。

8 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

2025年10月17日

2024年問題:長時間労働が常態化している建設業界では、規制の範囲内で工事を進めるために人材の確保や最新技術の導入といった工夫や努力が必要となる。
人手不足:いわゆる「団塊ジュニア世代」の大量退職も間近に控えていることから、少子高齢化による人手不足は、今後一層深刻になる。資材の高騰:ウクライナ危機による世界的な資材価格の高騰や、円安による輸入資材価格の高騰による建設資材がどちらも落ち着く気配がないためこのまま続いていく。環境規制の厳格化:2050年カーボンニュートラル目標達成に向け、建設現場でのCO2排出削減が強く求められている。新築される全ての建築物に対して、ZEB基準への適合が義務付けられる見込みです。

我々は建設事業を通じて、大きな環境負荷を発生してきたことを理解し、住宅・建築物分野で2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会を目指すことを念頭に置き、環境に配慮した建築物の企画・設計・施工・維持管理で例外なく省エネルギー化、CO2削減など提案、実行する。また、ZEBプランナー取得によるZEB建築物の普及への取組みを推進する。

〔変更の必要性〕

- | | | |
|-------------|--|-------------------------------|
| ・ 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| ・ 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| ・ 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |